

環境経営システム

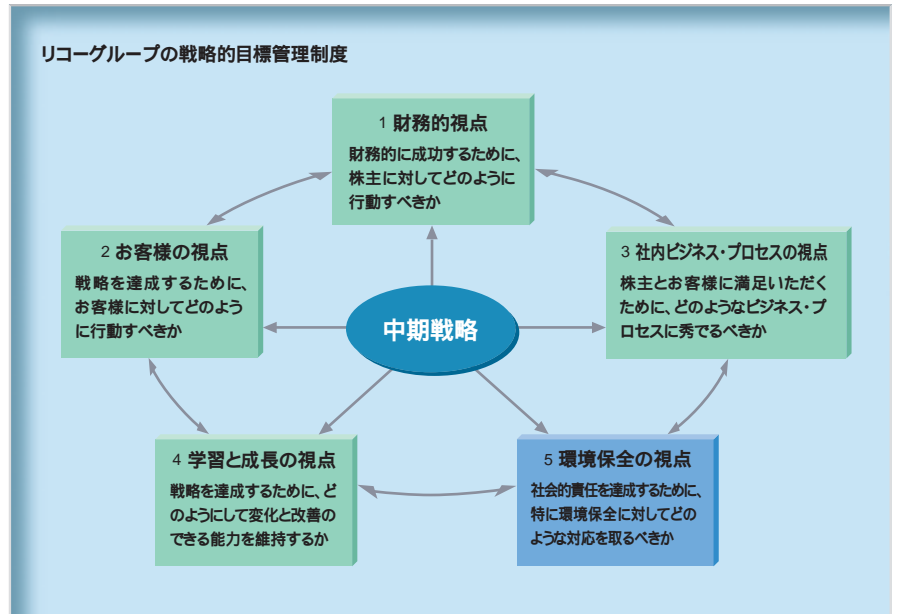
戦略的目標管理制度に「環境」の項目を取り入れ、PDCAサイクルを回しています。

リコーグループの環境経営システムは、環境経営を実現するための重要なツールのひとつです。全社の戦略的目標管理制度に「環境」の項目を取り入れ、グループのすべて*の事業所・部門の活動を評価すると共に、グループ全体および事業所・部門別のPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回し、継続的な改善による環境経営の実現を目指しています。

* 環境経営推進体制(左ページ)の図に表示されていない部門に対しても、「環境」の項目を取り入れた戦略的目標管理制度による評価が行われます。

グループ全体の環境経営システム

リコーは、環境保全を「企業人である前に地球市民として取り組んで行くべき使命」と位置付けていますが、継続的に環境保全活動を行って行くためには、活動から利益を創出することが重要になってきます。そのため「環境会計*1」で環境

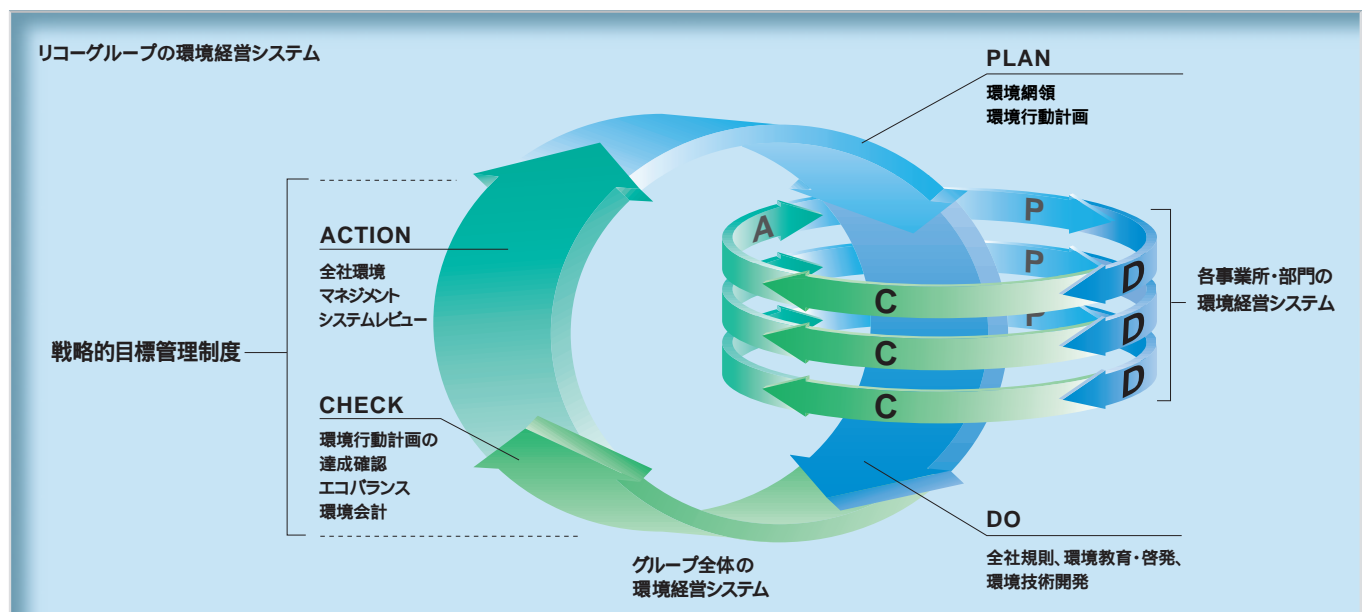


コストと効果の把握を進めると共に、環境活動の評価基準を明確にし、部門の業績評価に結びつける仕組みとして、1999年から「戦略的目標管理制度」を導入しています。これは、1990年代にアメリカで開発された「バランスト・スコアカード」の4つの視点に「環境保全」の視点を加えた戦略的な目標管理の手法です。リコーは、環境経営を実現するために、「戦略

的目標管理制度」をグループ全体に順次展開すると同時に、マネジメントレビュー*2でグループ全体の環境行動計画の達成確認を行い、グループ全体のPDCAサイクルがより効果的に回るようにしています。

*1 17、36、40、48、50、73ページを参照。

*2 環境マネジメントシステムの適切性、有効性を確実にするために、経営層が行う見直しをいいます。



リコーグループの事業所・部門別 ISO14001 認証取得状況(2001年4月~2002年3月)

2001年度3月以前の取得状況については、2001年度版の社会環境報告書をご覧ください(<http://www.ricoh.co.jp/ecology/report/index2001.html>)

拠点名(事業所名/会社名)	所在地	審査登録機関	認証登録日				
				RICOH DEUTSCHLAND GMBH	ドイツ	TUV	2001.12.07
RICOH CORPORATION(SAN JOSE)	アメリカ	BSI	2001.04.18	株式会社リコー(販売事業本部&販売会社)	日本全国	JQA	2001.12.14
NRG Italia S.p.A.	イタリア	DNV	2001.05.23	RICOH HUNGARY KFT	ハンガリー	BVQI	2001.12.14
Ricoh Electronic Technology (China)Co.,Ltd.(RET中国)	中国	SCEMS	2001.05.23	NRG FRANCE SA	フランス	AFAQ	2001.12.18
Gestetner Denmark a/s	デンマーク	DS CERTIFICATION	2001.06.11	GESTETNER(ISRAEL)LTD.	イスラエル	IQC	2001.12.31
N.R.G. COMUNICACIONES, S.A.	スペイン	AENOR	2001.06.11	RICOH ITALIA SPA	イタリア	RINA	2002.01.25
Ricoh New Zealand Limited	ニュージーランド	TeLaRC	2001.06.14	Ricoh Australia Pty Ltd	オーストラリア	QAS	2002.02.08
NRG Deutschland GmbH	ドイツ	TUV	2001.07.20	Ricoh Canada Inc.	カナダ	SGS	2002.02.12
Gestetner Svenska AB	スウェーデン	DNV	2001.08.23	Ricoh (UK) Limited	イギリス	BSI	2002.03.04
Ricoh Hong Kong Limited	香港	SGS	2001.09.11	RICOH FRANCE SA	フランス	BVQI	2002.03.07
RICOH BELGIUM	ベルギー	BVQI	2001.09.20	NRG Ireland Limited	アイルランド	BSI	2002.03.15
Ricoh Nederland B.V.	オランダ	BVQI	2001.09.25	Ricoh Norge AS	ノルウェー	Nemko	2002.03.25
NRG Group UK Limited	イギリス	BSI	2001.11.15	RICOH ESPANA, S.A.	スペイン	BVQI	2002.03.27
Ricoh Europe B.V.	オランダ	BVQI	2001.11.20	Ricoh Europe BV, Sucursal em Portugal	ポルトガル	PJR	2002.03.28
リコーリース株式会社	日本全国	JQA	2001.11.30	Ricoh POLSKA Sp. zo. o.	ポーランド	BVQI	2002.03.29
RICOH Austria Ges.m.b.H.	オーストリア	BVQI	2001.12.07	RICOH (SINGAPORE) PTE LTD	シンガポール	BSI	2002.04.18*

* 2002年3月中に審査が終了し、合格内定を受けておりましたが、登録証の発行日付けが4月以降となったものです。

事業所・部門別の環境経営システム

リコーグループの各事業所・部門では、「戦略的目標管理制度」を順次取り入れています。また、国際的にビジネスを展開するグローバル企業として、国際的な合意を得たISO14001を尊重すると共に、グループとして統一されたマネジメントシステムを構築するため、マルチサイトでの認証取得を進めてきました。1995年12月25日に認証を取得したリコー御殿場事業所*をはじめ、2001年度までに世界の生産拠点・営業拠点など、対象40拠点794サイト中、35拠点789サイトで認証を取得し、残りの5拠点5サイトも2002年11月までに認証を取得する予定です。

* 日本の認証機関による第1号の認証となりました。

環境経営につながる活動を展開

リコーグループは、右ページの図のように部門ごとにそれぞれの環境側面に対応した活動に取り組んでいます。たとえば非生産系事業所においては、オフィスの省エネやごみゼロはもちろん、環境負荷の少ない製品の設計^{*1}や、お客様に環境負荷の少ない製品を提案^{*2}するなど、環境経営に結びつく活動を展開しています。

*1 31ページを参照。

*2 32、41、47ページを参照。

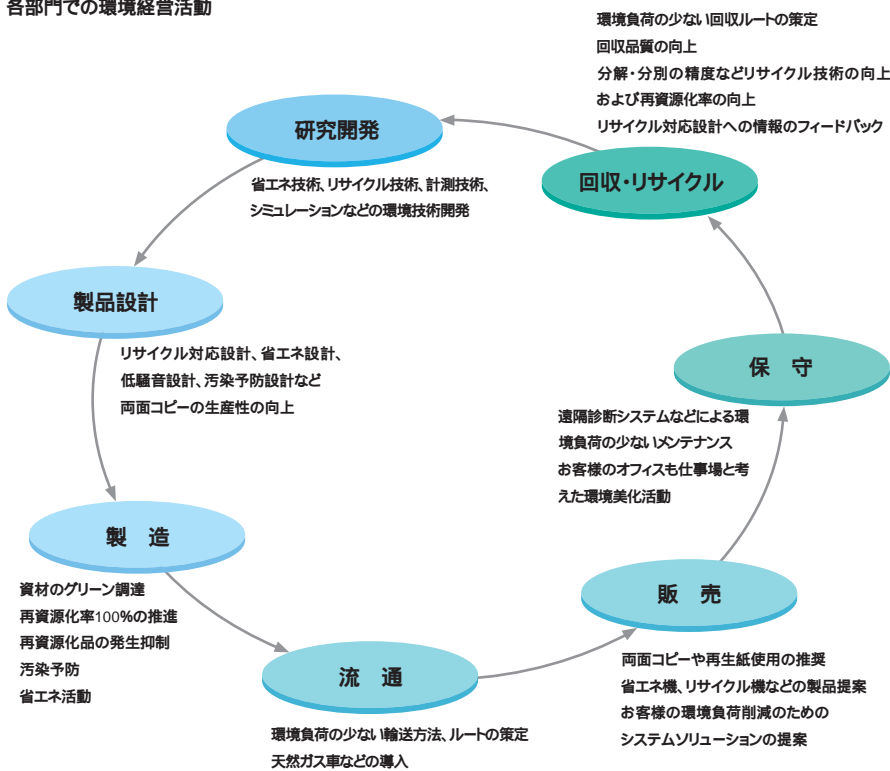
環境監査

リコーグループでは、リコーで養成された内部監査員が、それぞれの事業所の環境監査を行うと共に、各事業所のトップに結果を報告し、効果的にPDCAサイクルが回るようにしています。

リスクマネジメント

リコーグループは、世界の主要生産拠点でISO14001の認証を取得し、これに基づいたリスクマネジメントシステムを構築しています。事故が発生した場合には、それぞれの現場で社会的責任に基づいた対応を行うと同時に、世界各極の環境会議から経営トップに報告され、社会への速やかな情報開示など適切な対応がとられます。

各部門での環境経営活動



世界各極でのリスクマネジメント活動事例
リコーグループの各事業所では、環境影響化学物質の使用量削減を進めると共に、汚染・災害予防のために、さまざまな設備の導入や、訓練を実施しています。

安全監視システム

リコーやしろ工場では、安全監視コントロールシステムを構築し、工場の各所に設けられた各種センサーなどで安全を確認しています。異常時には音と画面で警報を出し、コントロールルームから適切な指示を迅速に出します。



リコーやしろ工場の安全監視コントロールルーム

環境影響化学物質の管理

環境影響化学物質を扱う事業所では、万一の薬品漏れの際にも土壌汚染などを引き起こさないよう、薬品の容器の下に槽を設けています。



リコーインダストリーフランスの化学薬品倉庫

溶剤による塗装の停止

リコーインダストリーフランスでは、有機溶剤ベースの塗装を停止するために、水ベースの塗装を開発しました。揮発性有機化合物の大気への排出を83%削減しただけでなく、年間27,000ユーロ(約280万円)のコストダウンも実現しました。

火災時の汚染予防

リコーインダストリーフランスでは、火災時の消火水に混じって、トナーなどが工場の外に出ないようにプールを設置しています。プールに溜まった消火水は、ポンプで集め、処理場へ運ばれます。



リコーインダストリーフランスの消火水プール

汚染・災害予防訓練

工場では、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動を通じて、危険物の取扱いなど安全面の徹底を図っているほか、各事業所で、それぞれのリスクに応じた汚染・災害予防訓練を行っています。



中国のRAI(Ricoh Asia Industry)の災害予防訓練